

---

枝 幸 町  
公共施設等総合管理計画  
(概要版)

---



平成29年3月 策定  
(令和4年3月 改訂)

## 1. 計画の概要(背景と目的、位置づけ)

公共施設等総合管理計画は、まちづくり計画に基づき、各長寿命化計画などの個別の計画と相互に連携を図りながら、今後策定予定の「公共施設再配置基本計画」等の実施計画策定を通じた公共施設の適正管理・整備により、住みよいまちづくりの一端を担うものです。

本計画は、これまで整備されてきた当町の公共施設等について、その配置や利用状況、老朽化の状態などの現状を分析し、また、人口減少や少子高齢化に伴う財政状況への影響等を鑑み、様々な課題に対する全庁的な視点での取り組みを検討し、よりよいまちづくりを進めていくことを目的に策定しました。

なお、本計画の期間は、平成29(2017)～令和28(2046)年度までの30年間とします。ただし、計画期間内であっても必要に応じて適宜方針を見直すものとします。

## 2. 公共施設マネジメントの基本的な考え方

公共施設マネジメントとは、公共施設等を一元的に把握して将来の費用負担を推計し、その上で、老朽化した施設の統廃合や余剰施設の複合的な活用、施設の長寿命化や民間資金の導入などを行い、一定の行政サービスを維持しつつ、長期的な財政支出の削減を図る取り組みをいい、地域の特性や住民のニーズに合わせて、公共施設等の適正な配置を検討します。

また、将来の人口動向や財政状況を踏まえ、供給量を適正化することとし、公共施設等のコンパクト化(統廃合、規模縮小等)の推進を図ります。既存施設については、老朽化の状況や利用実態及び今後の需要見通しを踏まえ、計画的な修繕・改善による品質の保持に努め、施設の有効活用を図ります。また、本計画は公共施設マネジメントにPDCAサイクルを採り入れ、常時、Plan(計画)→Do(実行)→Check(評価)→Action(改善)を意識することにより、計画自体を継続的に改善していきます。

### 公共施設等の総量に関する基本方針

- ⇒財政状況や人口推計を踏まえ、一定の範囲内にコントロールする
- ・資産更新の方針(長寿命化の検討)
  - ・用途廃止施設の方針  
(処分や転用の検討)
  - ・施設総量適正化への取り組み  
(統廃合、複合化、民間委譲、広域

### 公共施設等の維持管理方針

- ⇒安全性確保と費用圧縮・効率化
- ・点検や診断等の実施方針
  - ・維持管理や修繕、更新等の実施方針
  - ・安全確保の実施方針
  - ・耐震化の実施方針
  - ・長寿命化の実施方針

**フォローアップの実施方針** ⇒財政状況や環境の変化に応じ適宜見直し

### 3. 公共施設等の状況

#### (1) 公共施設(建物)の概況

当町の公共施設(建物)の延床面積の合計は約20.8万㎡となっています。

施設件数では住宅が最も多く、次いでその他の施設、集会施設などが続きます。延床面積でも住宅が最も大きく、次いで規模の大きい施設を多く含む学校教育施設やその他の施設と続きます。

施設がどの程度、老朽化しているかを示す資産老朽化比率を見ると、当町の建物全体では71.0%となっています。

施設分類ごとに見ると、全体平均よりも老朽化率が低い(新しい建物が多い)ものとしては、産業施設、保健福祉施設などがあります。

一方、全体平均よりも老朽化率が高い(古い建物が多い)ものとしては、学校教育施設や観光施設などがあります。規模が大きく比較的新しい施設は、再調達価額も大きくなるため、資産老朽化比率への影響が大きくなります。

#### ■ 施設分類別の概況

施設分類	施設数	延床面積 (㎡)	再調達価額 (千円)	減価償却 累計額 (千円)	資産 老朽化 比率
01 行政施設	2	4,728	1,891,296	1,169,554	61.8%
02 保健福祉施設	14	17,325	6,236,948	3,477,735	55.8%
03 社会教育施設	6	6,033	2,413,220	1,681,656	69.7%
04 体育施設	9	11,738	4,225,590	3,187,646	75.4%
05 産業施設	16	13,841	5,536,416	1,528,015	27.6%
06 観光施設	11	12,419	4,470,836	3,850,256	86.1%
07 集会施設	26	10,720	4,288,000	3,217,160	75.0%
08 学校教育施設	12	30,384	10,026,826	9,809,224	97.8%
09 住宅	277	64,802	18,144,617	12,549,826	69.2%
10 環境衛生施設	18	8,425	3,033,004	2,100,929	69.3%
11 その他の施設	122	27,111	9,759,828	7,126,709	73.0%
総計	513	207,526	70,026,581	49,698,710	71.0%

## ■資産老朽化比率の推移

施設分類	平成30年度	令和元年度	令和2年度
01 行政施設	57.8%	59.8%	61.8%
02 保健福祉施設	51.5%	53.7%	55.8%
03 社会教育施設	65.6%	67.7%	69.7%
04 体育施設	70.7%	73.1%	75.4%
05 産業施設	20.5%	24.0%	27.6%
06 観光施設	81.9%	84.0%	86.1%
07 集会施設	71.0%	73.0%	75.0%
08 学校教育施設	97.6%	97.8%	97.8%
09 住宅	65.1%	67.1%	69.2%
10 環境衛生施設	63.3%	66.3%	69.3%
11 その他の施設	70.0%	71.6%	73.0%
全施設平均	67.2%	69.1%	71.0%

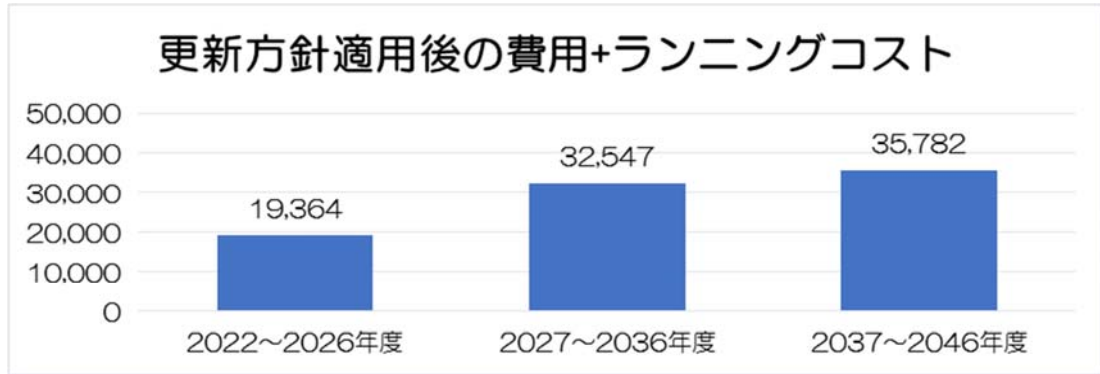
## (2)公共施設の更新費用の見通し

教育施設等長寿命化計画、公営住宅等長寿命化計画、一般廃棄物最終処分場浸出水処理施設長寿命化計画及び枝幸町一般廃棄物リサイクル・資源化施設長寿命化計画の対象施設以外の公共施設（建物）について、「耐用年数経過時に単純に更新した場合」と「施設の方向性に基づいた将来の資産更新必要額を試算した場合」を比較します。シミュレーション期間は、本計画の期間と合わせて、令和28（2046）年度までとします。

既存の公共施設を耐用年数経過後に建替えた場合、約1,148億円の費用の見通しとなりますが、施設の方向性に基づいた更新等を行った場合、次頁「更新方針適用後の費用及びランニングコスト」のとおり約877億円の費用の見通しとなり、約271億円削減することができます。

- ※ 総務省の公共施設等更新費用試算ソフトを参考に単価算出
- ※ 長寿命化・現状維持・多機能化、機能移転、各種見直しは大規模改修単価を採用して計算
- ※ ランニングコストは各課ヒアリングを基に算出

### ■更新方針適用後の費用及びランニングコスト（単位：百万円）



## 4. 公共施設等の施設分類ごとの基本方針

将来の人口予測や財政状況等も踏まえ、各施設の老朽化状況や利用状況を加味して、各施設分類別に下表のとおり基本方針を設定します。

施設分類	基本方針
行政施設	施設整備を行い、継続して活用
保健福祉施設	施設の方向性に基づき、現状維持・機能移転等の施設整備
社会教育施設	計画に基づき、長寿命化等の施設整備
体育施設	計画に基づき、長寿命化等の施設整備
産業施設	産業振興の方針や産業別人口の推移も考慮し方針を検討
観光施設	利用状況や維持管理費を勘案し長寿命化等を検討
集会施設	地域ごとの利用状況を考慮し、複合化も視野に入れて検討
学校教育施設	計画に基づき、長寿命化等の施設整備
住宅	長寿命化計画に従って効率的に維持管理
環境衛生施設	現状維持の方針とし維持管理費用を削減
その他の施設	用途廃止された施設は民間への転用や解体・撤去を検討
道路	点検及び維持補修を計画的に実施し安全性を確保
橋梁	長寿命化計画に従って適切な点検と予防保全を実施
公園	長寿命化計画に従って適切な点検と予防保全を実施
上下水道	管渠などの設備の効率的な修繕及び長寿命化等を実施
港湾海岸保全施設	長寿命化計画に従って適切な点検と予防保全を実施

各施設の方針と更新費用の見通し等を踏まえ、今後「公共施設再配置基本計画」等の実施計画を策定し、公共施設の適正管理・整備を進め、住みよいまちづくりに努めてまいります。